

第6回 スマートウェイ推進会議作業部会 議事要旨

1. 開催日時・場所

日時：2006年7月21日（金）15:00～17:00

場所：虎ノ門パストラル 新館6階 ペーシュ

2. 出席者(敬称略)

委員：川嶋部会長、赤羽、岩貞、上條、吹譚、山口、森、佐々木

オブザーバー：加瀬川、小林（代理）、辻、竹内、鳥島、村重、馬場、小嶋（代理）、

野村（正）、転馬（代理）

代理出席の委員は（代理）と表記

3. 主な意見等

- ・ 次世代の ITS 車載器へ移行するアプローチだけでなく、現行 ETC を活かした応用利用を実現した意義は大きい。今後は、事業者個別ではなくユーザークラブの形態で事業を展開していくのが現実的。
- ・ 地図連携で走行注意情報がカーナビから提供されると安心して運転できることが期待できる。
- ・ デジタル道路地図を活用した情報提供について、交差点情報の右折時の事故パターンを踏まえた提供や通学路情報を登下校の時間帯だけ提供するなど、情報の出し方を工夫した方がより効果的である。
- ・ デジタル道路地図データは、行政間で連携して精度と鮮度を確保することが大事。
- ・ 外国語案内が可能なカーナビの普及やドライバーへの視覚障害者や電動車いすの存在情報の提供、高齢者に配慮した案内速度等による情報提供などの工夫を行うことが大事。
- ・ 「一般駐車場等を活用した休憩スペースの提供」は、首都高速道路等を利用するドライバーにとって大変便利だと思われる。
- ・ 安全運転支援の取り組みについては、実用化に向け着実に進めて欲しい。
- ・ 安全運転支援サービスについて、公道実験で確認すべき課題の整理が大事。
- ・ 「多様な通信メディアの活用」は、メディアの特性や信頼性を十分考慮することが大事。
- ・ 安全運転支援で用いるセンサー等の性能評価等（精度、コストなど）も必要。

以上